

# 全国学力学習状況調査の結果から見える子どもの姿

## ◇シリーズその4◇

全国学力学習状況調査の結果につきましては第20号より随時お伝えしていますが、国・道・市の結果や見解を受け下のようにまとめましたのでお読みください。

### 本校における成果と課題等

## 国語科

- スピーチの表現を工夫することは、できています。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言することは、できています。
- 俳句の状況を捉えることは、できています。
- 漢字を正しく読んだり、日常生活で使われていることわざの意味を理解したりすることができていますが、漢字を正しく書くことに課題が見られます。
- 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に書き加えることはできていますが、必要な内容を適切に引用したり、複数の内容を関係付けたりしながら、自分の考えを書くことに課題があります。
- ▲推薦文を比べて読み、推薦している対象を書くことはできていますが、文章の読み方の違いを捉えることに課題があります。
- ▲複数の内容を含む文について、主語と述語との関係や接続語の役割を押さえながら、文を分析的に捉えることに課題があります。

### 今後の学習指導改善に向けて

国語だけでなく様々な学習活動の中で、今後も聞き手を意識した話し方、話し手の意図を捉えた聞き方の定着、さらに自分の考えを明確にしなが、時と場所に合わせた適切な言葉遣いの定着を図っていきます。また、複数の文を一文に要約したり、長い一文を適切な接続語を使って複数の文にわけて簡潔に書いたりする学習なども取り入れながら書く活動を充実させます。また、主語と述語との関係や接続語の働きをしっかりと捉えさせ、作文など日常的に繰り返し取り組み、定着を図ります。

授業では、書かれている内容をもとに自分の考えをまとめ、みんなで共通点と相違点を考えながら話し合うといった学習を今後も続けていきます。また、文章を書く目的や意図に応じて、全体の構成を効果的に工夫できるように指導を継続的に進めていきたいです。さらに、文章の読み方の違いを捉えることができるよう、文章を比べて読んだり、読み方の着眼点をしっかりと押さえたりできるように指導をしていきます。また、漢字については正しく読むこと書くことを引き続けていねいに指導を続けるとともに、日常的に漢字や慣用句を使う機会を拡充したり、漢字がもつ意味や慣用句・ことわざの意味を考えながら正しく使うことができるよう、辞書などを積極的に活用したりしながら、語彙を広げていく学習を進めていきたいと考えます。

### 本校における成果と課題等

## 算数科

- 計算問題など、授業で学習した内容を確実に身につけることができています。
- ▲その反面、時間が経つと学習した内容を忘れ、誤答も目立ってきています。
- B問題では、生活経験に結びつく問題については正答率が高い傾向がみられます。
- ▲無回答が多く見られ、自分の考えを説明したり、筋道を立てて考えたりすることに課題があります。

### 今後の学習指導改善に向けて

計算問題は、日常的に使いこなすことがないと定着しません。授業やテストが終わった後にも、特に四則計算(+・-・×・÷)については繰り返し復習したり日常生活の中で活用したりしていくことを大切にしたいです。また、今後も授業の中での確実な定着を目指すために、少人数指導やTTなど指導体制の工夫を今後も継続して行っていきます。

授業では今後も自分の考えをノートに書いたり、友達に説明したりする活動を大切にしていきます。問題を読んで、式を立てて答えを求める学習だけではB問題のような問題に対処していくことは難しいです。自分が立てた式の意味を説明したり、友達の式の意味を解釈したりする活動や、計算の結果が表している意味を考える活動を授業の中に意図的に位置づけていきます。